

バイタルリンク運用好事例紹介（その9）

～タグの活用事例（発作・要注意情報）～

●タグ機能の運用事例

現在、連絡帳で選べるタグは16種類あります。今回は【発作】と【要注意情報】のタグ利用事例についてご紹介します。

【既存のタグ】

- ACP
- 検体検査
- 診療画像
- 臨床写真
- 調剤情報
- ケアプラン情報
- 診療情報提供書
- 転倒
- 行方不明
- 発作

【2/24より導入したタグ】

- 医療トラブル
⇒医療機器にまつわるトラブル等
- 合併症・急性増悪発症
⇒合併症や急性増悪が発症した際の情報
- 要注意情報**
⇒患者さんやご家族が嫌がるような処置や事象等注意事項
- 歯科・口腔・嚥下情報
⇒歯科や口腔嚥下に関する情報
- 身体・高次機能
- 栄養関連情報

《発作事例》

●【事例】84歳女性、レビー小体型認知症の方



件名：痙攣発作

11時40分、訪室すると、顔面紅潮あり、共同偏視、口を閉じ、ぶーぶーとした呼吸、四肢チアノーゼ。5分経過観察するが変化なし。
11時47分ダイアアップ座薬使用。SpO2 99% P66
12時5分呼吸落ち着き、チアノーゼ消失。BP106/43、P64

この間の報告には情報が明確ではない記載もあった



件名：痙攣発作

15時48分全身性の痙攣発作あり、15時51分無呼吸発作(30秒程度)52分ダイアアップ座薬挿入手指チアノーゼ、顔面紅潮。SpO298%、P88. 16時ウトウトし始めるが共同偏視あり。BP150/80 mm Hg、P80、16時30分痙攣完全に落ち着く。娘様に連絡し帰宅しています。

「持続時間」、「発作の程度」の報告を依頼



件名：痙攣発作

11時45分、無呼吸発作を伴う全身性の痙攣発作ありダイアアップ座薬使用し、15分程度で落ち着いています。



件名：痙攣発作

13時50分左半身のみの痙攣発作あり。共同偏視あり。間代性けいれんで17分43秒。SP02 98% P38～40。ダイアアップ座薬使用せずに自然消失。痙攣消失後のバイタルBP85/61mmhg、P48 SP02 99%です。本日入浴日で、11時頃終了しています。

5分以上持続する場合に座薬使用するという基準を医師が示した。

⋮ (ここまで発作に関する報告8回)



件名：Re:痙攣発作

共同偏視を伴う左半身のみに拡がる間代性のけいれんが17分以上続いたとのこと。過去のエピソードと比べて、かなり長い発作と言えるでしょうか？
感覚的には、5分以上間代性の全身けいれんが持続すると、脳血流の低下なども心配な気がするので、ダイアアップの使用も考えたいところです。程度にもよるといえることになってはいますが、そのあたりのすりあわせ目的で、これだけ長く続く場合には、一度動画で記録して貰えるととてもありがたいです。

《要注情報事例》 要注情報には様々なことが当てはまります。

●【事例】 84歳女性、パーキンソン病の方



医師

件名：要注情報

夫は、糖尿病・不整脈、でクリニック通院中。最近糖尿病悪化。
夫は難聴と、少なくとも軽度の認知機能低下はあり、こだわりも強い、と見受けられた。



医師

件名：要注情報

夫は①立位への介助、②ベッド上の側臥位に移す介助 だけでも無理すじの強引な介助
残念ながら自己流で、いまや介護関連骨折のリスクあり。



医師

件名：要注情報

認知機能は・・・
実は夫より本人の方が良いのではないか・・・
(少なくとも現状の把握や柔軟性は)

●【事例】 87歳男性、アルツハイマー型認知症の方



看護師

件名：要注情報

そわそわしており、誰かを殴りたい、誰かと喧嘩したいと話していました。
浣腸して便を出した後、静かになって横になったことや週2回しか便がでていないことから便秘が要因
と考えます。水分摂取量もそこまで多くないようで衣類もたくさん着ていたので、様々な要因が便秘を
引き起こしていると思います。下剤増量は息子が消極的のため、まずはヘルパー介入時に水分を準備し
てもらい摂取することを始めていこうと思います。



医師

件名：要注情報

長男は3ヶ月に1回脳外科主治医にのみ通院中。どこかのタイミングで内科主治医による
管理（当院外来？）に移行することを助言したい。

●【事例】 87歳男性、脳出血後遺症、高血圧症の方



看護師

件名：要注情報

ひきこもり孫は通信性の高校に行き、外出もたまにするとのこと



医師

件名：要注情報

息子さん診察途中で突然リモートで話し始めた。
食卓にリモートカメラが設置されていた！

推奨する利用方法

患者に関わる様々な職種が把握しえたアクシデント等に関するエピソードを
【場所】・【状況】・【時間帯】・【考えられる誘因】・【深刻さ】等を考慮しながら
バイタルリンクの連絡帳へ情報を登録し、該当するタグを付けてください。



連絡帳にタグと共に登録され、積み重ねたエピソードを
“まとめ機能”で表示することにより、原因の究明や予防対策立案に
役立てることができる可能性があります。